

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

| | | | | | | | |
|----------|---|---|---------|---------|------------|----------------------------------|--|
| 提出区分 | 実績 | 整理番号 | 5 | 課題区分 | C | 令和5年12月7日 | |
| 横断的な課題 | 地域の特色を活かした山岳観光地域づくりの推進 | | | | | | |
| 地域重点政策 | 2 観光誘客や移住者増加につながる地域の魅力を高め、発信する | | | | 北アルプス地域振興局 | | |
| 実施機関 | 北アルプス地域振興局 | | | 担当課 | 所属 | 総務管理・環境課 | |
| 事業名 | 北アルプス北部山岳イメージアップ事業 | | | | 電話 | 0261-23-6563 | |
| | | | | | E-mail | kitachi-kankyo@pref.nagano.lg.jp | |
| 事業の概要等 | 目的 (目指す姿) | 登山者等のマナー向上を図り、北アルプス北部山岳地域のイメージアップを目指す。 | | | | | |
| | 現状と課題 | <p>当管内の国立公園内は山岳関係者の活動も活発であることから、他の山域に比べ比較的きれいに保たれているといわれている。また、他の関係団体でもマナー向上の啓発に取り組むようになり、入山口施設等で啓発広告物が掲示されている。</p> <p>指導件数はR3年度は約1,020件/年、R4年度は約610件/年と減少傾向ではあるが、依然として規制ロープを超えての踏み荒らし行為、ゴミ捨て等のマナー違反が多く報告されている。</p> <p>引き続き山岳関係者の協力を得ながら、登山者等のマナー向上に取り組むことが必要である。</p> | | | | | |
| | 内容 (変更後の内容) | <p>令和5年度版は表面は「国立公園の利用上のマナー」のピクトグラムとし、その場で指導、注意喚起しやすい内容にする。裏面のデザインを別の山岳風景写真に変更する。</p> <p>(1)登山者マナーカードの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーディングカードサイズのカードを35,800枚に増やして作成する。 ・表面を「国立公園の利用上のマナー」のピクトグラムとする。 ・裏面を別の山岳風景写真に変更 <p>(2)配布方法、配布箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山小屋、登山案内所での配布 ・大町市、白馬村、小谷村観光案内所および登山用品店での配布 ・管内観光事業者が主催する環境ツアーイベントでの配布 ・自然保護レンジャーによる手渡し ほか | | | | | |
| | 事業期間 | 令和5年7月 | | ～ | 令和5年12月 | | |
| 事業費等 | (単位:円) | | | | | | |
| | 事業を構成する細事業名等 | 実施内容 | | 実績額 | 備考 | | |
| | マナーカード作成費 | マナーカードの印刷 | | 207,926 | | | |
| | 郵送料 | 配布者への郵送 | | 40,462 | | | |
| | 合計 | | 248,388 | | | | |
| 指標及び達成状況 | 成果指標 | | | 目標値 | 成果 | 達成状況 | |
| | マナーカード作成、配布数 | | | 35,800 | 35,800 | ○ 達成 | |
| | マナー違反者への注意喚起報告件数 | | | R4件数以下 | 873 | ● 一部達成 | |
| 事業実績・成果 | <p>【マナーカードの作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8種類 35,800枚 ・内訳:大町市(鷲羽岳4,600枚、針ノ木岳蓮華岳4,500枚、鹿島槍ヶ岳4,500枚)、白馬村(白馬三山5,400枚、五竜岳4,500枚、白馬岳4,600枚)、小谷村(榎池園地4,100枚、鎌池3,600枚) <p>【マナーカードの配布】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山小屋31軒、ビジターセンター、登山案内所6箇所、各市村駅前観光案内所での配布(15,100枚) ・長野県自然保護レンジャーによる配布(13,760枚) ・管内アウトドア用品取扱店での配布(6,940枚) <p>【マナー啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードを利用しての登山者への啓発は、口頭のみ比べ受け入れられ易い傾向にある。 ・アウトドア用品取扱店での配布では、登山者以外の野外活動に関心のある観光客への啓発に繋がっている。 ・スキー場運営会社が主催する県外学生を対象とした自然体験イベントで活用する事により、若年層への啓発に繋がる。 | | | | | | |
| | 今後の方向性 | 登山者のみならず、野外活動に関心のある観光客への自然保護啓発にも効果的であることが確認できている。移動制限が解除され入山者数は増加している事から、改めて山岳関係者などを通じて利用者に対する啓発活動に重点をおいていきたい。 | | | | | |